

あゆち

特集：愛知のスポーツ

第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)、
第 5 回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)の開催に
ちなみ、愛知県のスポーツに関する資料をご紹介します。

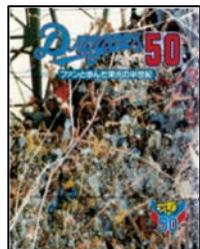
愛知のスポーツあれこれ ～球技～



野球

▶ 中日ドラゴンズ

1936(昭和11)年に前身の名古屋軍が誕生。
1947(昭和22)年「中日ドラゴンズ」としての第一歩を踏み出しました。



『月刊 Dragons』
(中日新聞本社)

ドラゴンズの旬の話題を届ける。
81号(1990.1)から所蔵。

『中日ドラゴンズ五十年史-Dragons50
ファンと歩んだ栄光の半世紀』(中日ドラゴンズ 1985.5)

▶ 高校野球 名古屋で始まったセンバツ高校野球

1924(大正13)年の選抜中等学校野球大会第1回大会は、山本球場(のちの八事球場)で開催されました。
『名古屋市鳥瞰図』には球場が描き込まれています。

『名古屋市鳥瞰図』

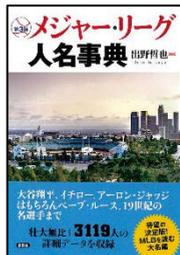
吉田初三郎(汎太平洋平和博覧会 1936)



△一部拡大
八事山興正寺の
西隣が山本球場

▶ MLB (米大リーグ)

2025(令和7)年にイチロー氏(豊山町出身)が日本人初の米野球殿堂入り。2023シーズンから千賀滉大選手(蒲郡市出身)がニューヨーク・メッツに所属しています。



『メジャー・リーグ人名事典 第3版』
出野哲也/編著
(言視舎 2025.2)

『愛知県の高校野球 100年の歩み 白球の軌跡』(愛知県高等学校野球連盟 2019.3)



中等学校野球時代からの歴史や熱戦などを公式記録とともに振り返る。

ソフトボール

2021(令和3)年東京オリンピック金メダル獲得の翌年、さらなる高みを目指してJDリーグが発足しました。所属16チーム中4チームが愛知県を拠点にしています。

『ソフトボールマガジン』

(ベースボールマガジン社)

155号(1990.1)～553号(2022.7)休刊以降はWebサイトから

<https://www.bbm-japan.com/category/softball>

ハンドボール

『物語日本のハンドボール』杉山茂/著
スポーツバント/編(グローバル教育出版 2020.7)

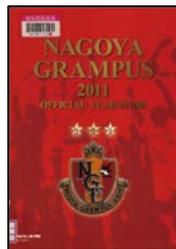


戦後に再開された全日本選手権第1回大会(1950年)は、一宮市で開催。
「ハンドボール王国」と呼ばれるに至る愛知県協会の奮闘、実業団チームの活躍などが取り上げられている。

サッカー

▶ 名古屋グランパス

1991(平成3)年に誕生。
2010(平成22)年にはリーグ初制覇を成し遂げました。



『月刊GRAMPUS』
(中日新聞本社)

名古屋グランパスの活躍を追うサポーターズマガジン。
1号(1994.3)から所蔵。

『NAGOYA GRAMPUS OFFICIAL YEAR BOOK 2011』
(名古屋グランパスエイト 2011.4)

▶ 愛知県サッカー協会

『愛知県サッカー協会75年史「明日にかける」』

愛知県サッカー協会75年史編集委員会/編(愛知県サッカー協会 2002.12)

草創期から2002(平成14)年まで、愛知県サッカー発展の歴史を記録。



バレーボール

『頂を目指して』

石川祐希/著(徳間書店 2024.6)



岡崎市立矢作南小学校3年生でバレーボールと出会ってから、小中学校の全国大会、高校での六冠達成、オリンピックの舞台、日本代表キャプテンとなった現在、そして今後の展望を綴った石川祐希選手の自叙伝。

テニス

『凱旋 9歳で癌になった僕が17歳で世界一になるまでの話』

小田凱人/著(ぴあ株式会社 2024.6)



17歳で全仏オープン最年少優勝、18歳でパリパラリンピック金メダル、19歳で生涯ゴールデン Slam達成など車いすテニスの新世代王者・小田凱人選手は、一宮市出身。実現していく夢のカタチを本人が語る。

バスケットボール

バスケットボール



Bリーグとは、2016(平成28)年秋に開幕したプロバスケットボールリーグ。最上位のB1リーグに所属する26チーム中4チームが愛知県を拠点にしています。



『DOLPHINS MAGAZINE 2024-25』
(東京ニュース通信社 2024.10)



『シーホース三河公認ブック BOOSTER'S 2024-25』
(東京ニュース通信社 2024.10)

愛知のスポーツあれこれ ～球技以外～



フィギュアスケート

日本人として初めてフィギュアスケート競技でオリンピックメダルを獲得した伊藤みどり氏をはじめ、愛知県からは世界で活躍する選手を輩出しています。2010(平成22)年バンクーバーオリンピック及び2014(平成26)年ソチオリンピックに出場した女子シングルの選手は、全員愛知県出身でした。

『満知子せんせい

みどり、真央、昌磨と綴った愛の物語』



高橋隆太郎/著
(中日新聞社 2025.1)
名古屋スポーツセンターで、数多くの有名選手を育て続けている山田満知子氏。競技の楽しさを伝えることを信条とした氏の人生をひとくとく一冊。

『メダリスト』 1～14巻 (刊行中)



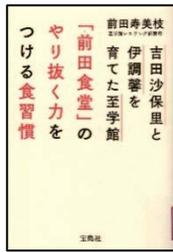
つるまいかだ/著
(講談社 2020.9～)
名古屋市が舞台のフィギュアスケート漫画。「次にくるマンガ大賞 2022」、「小学館漫画賞」(2023)、「講談社漫画賞」(2024)を受賞した話題作。

レスリング

『吉田沙保里と伊調馨を育てた至学館「前田食堂」のやり抜く力をつける食習慣』

前田寿美枝/著
(宝島社 2017.3)

多くのオリンピック金メダリストを育てたレスリングの名門 至学館大学(旧:中京女子大学)は大府市にある。至学館大学レスリング部の寮母である著者が、選手の「強さ」と「食」の関係を語る。



▶あいちのスポーツ情報なら aispo!

aispo!は、愛知県の「みる」スポーツ情報を発信しています。Webでは大会日程やプロスポーツチーム紹介、ボランティア情報、SNSではきめ細やかなリアルタイム情報、雑誌では競技特集や選手の素顔に迫るインタビューなど、様々な角度から競技の魅力を伝えています。



『aispo!:あいちのスポーツリージョナルマガジン』(愛知県 季刊) 1号(2014. summer)から所蔵



<https://aichi-sports.jp/>
愛知県スポーツ局スポーツ振興課

相撲

▶ 大相撲名古屋場所

大相撲名古屋場所は1958(昭和33)年に初開催されました。空調設備のない金山体育館が会場で、真夏の茹だるような暑さの中の観戦は通称“南洋場所”。1965(昭和40)年に愛知県体育館に移転して以来、60年の長きにわたり同所で開催されました。2025(令和7)年IGアリーナが完成し、その年の名古屋場所がこけら落としとなりました。

『大相撲力士名鑑 令和七年版』 (共同通信社 2024.12)



明治から令和にかけての全幕内力士907人を収録。愛知県出身の横綱は、第28代大錦大五郎(現弥富市出身)、第51代玉の海正洋(現蒲郡市出身)がいる。



『熱き男たちの系譜 大相撲名古屋場所50年報道写真集』 (中日新聞社 2007.5)

50周年を迎えた名古屋場所を振り返る名場面集。

水泳

『勇気、涙、そして愛 前畑は二度がんばりました』

兵藤秀子/著 (ごま書房 1990.12)

椋山第二高等女学校(現:椋山女学園高等学校)で研鑽を積み、1936(昭和11)年ベルリンオリンピック平泳ぎ200mで日本人女性初の金メダルを獲得した前畑秀子氏の自伝。



陸上競技

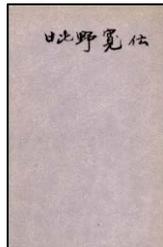
『超える力』室伏広治/著 (文藝春秋 2012.6)

17歳でハンマー投げを始め、中京大学では競技に打ち込みつつ大学院へ進み博士号を取得。輝かしい戦績を残し、現在も競技の枠を超えて日本スポーツ界に貢献する室伏広治氏が、現役20年の節目に自らの競技生活を振り返った一冊。



『日比野寛伝』愛知一中会/編 (中統教育図書 1985.1)

愛知県第一中学校(現:旭丘高等学校)の校長在職中、マラソンを教育界に導入し「マラソン校長」と呼ばれた日比野寛氏の伝記。1959年刊『日比野寛』を編集再刊。

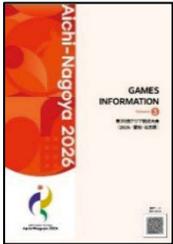


愛知を舞台にしたスポーツ大会

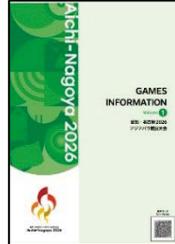


第20回アジア競技大会 (2026/愛知・名古屋) ・第5回アジアパラ競技大会 (2026/愛知・名古屋)

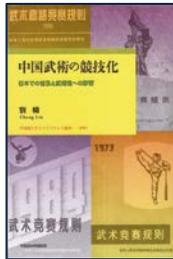
アジア競技大会はアジア・オリンピック評議会(OCA)、アジアパラ競技大会はアジアパラリンピック委員会(APC)が主催する国際スポーツ大会です。原則4年ごとの開催で、アジアならではの競技が採用されているのが特徴です。2026(令和8)年には愛知・名古屋を舞台に、アジアの45の国と地域が参加する予定です。



『GAMES INFORMATION』
(愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会 [2025])
大会概要、実施競技と会場、開催に向けた取り組みなどをまとめた小冊子。アジア競技大会は赤、アジアパラ競技大会は緑の表紙。音声コード付き。



▶アジアならではの競技



【武術太極拳】
『中国武術の競技化』
劉暢/著(早稲田大学出版部 2023.6)
中国武術が競技として普及していく過程を追った一冊。



【カバディ】
『カバディ ルールと戦術』
E. P. ラオ/著, 金子茂/訳(玉川大学出版部 2000.9)
インド発祥の民族スポーツ「カバディ」の入門書。

名古屋ウィメンズマラソン

第1回大会は1980(昭和55)年「中日女子20キロロードレース」として豊橋で開催。世界陸連から最上位の「プラチナラベル」を認定される国際大会でありながら、初心者にも参加しやすく、世界最大の女子マラソンとしてギネス世界記録を持つ大会でもあります。

大会Webサイト:
<https://womens-marathon.nagoya/>

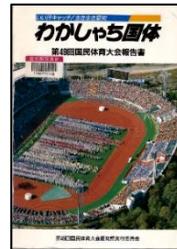
ラグビーワールドカップ

2019(令和元)年、ラグビーワールドカップが初めて日本で開催され、豊田スタジアムが会場のひとつとなりました。

『愛知・豊田パーフェクト観戦ガイド』
(ラグビーワールドカップ2019 愛知・豊田開催支援委員会 [2018])



わかしゃち国体、ゆめびっくあいち



国民スポーツ大会(旧:国民体育大会)は、都道府県持ち回りで毎年行われるスポーツの祭典です。1994(平成6)年愛知県で行われた第49回国民体育大会は「わかしゃち国体」と呼ばれました。また同年に、第30回全国身体障害者スポーツ大会(ゆめびっくあいち)が開催されました。

『第49回国民体育大会報告書 わかしゃち国体』
(第49回国民体育大会愛知県実行委員会 1995)



『ゆめびっくあいち関連記事記録集』
(第30回全国身体障害者スポーツ大会実行委員会 [1995])

ゆうあいピック愛知・名古屋大会

1997(平成9)年には、全国知的障害者スポーツ大会(ゆうあいピック)が愛知県で開催されました。

『ゆうあいピック愛知・名古屋大会 カいっばい、愛いっばい』
ゆうあいピック愛知・名古屋大会実行委員会/編, 中日新聞社/編
(ゆうあいピック愛知・名古屋大会実行委員会 1998.2)



▶幻の名古屋オリンピック

1988(昭和63)年夏季オリンピックは、名古屋市を中心とした招致運動を行うも実らず、IOC総会でソウル市開催に決定しました。

『もしかしてこんな愛知だった?』岩瀬彰利/編著(風媒社 2025.7)
実現しなかった愛知県の事業構想のひとつとして、主会場候補施設の建設予想図やポスターなど貴重な写真資料とともに解説。



▶愛知県生まれのオリンピック・パラリンピック金メダリスト(個人競技)

氏名(出身地)	種目	大会
清川正二(豊橋市)	競泳男子 100m 背泳ぎ	1932年ロサンゼルス
中山彰規(名古屋市)	体操男子つり輪、平行棒、鉄棒	1968年メキシコシティ
中山彰規	体操男子つり輪	1972年ミュンヘン
吉田秀彦(大府市)	柔道男子 78kg 級	1992年バルセロナ
谷本歩実(安城市)	柔道女子 63kg 級	2004年アテネ
谷本歩実	柔道女子 63kg 級	2008年北京
加納虹輝(あま市)	フェンシング男子エペ	2024年パリ
小田凱人(一宮市)	車いすテニス男子シングルス	2024年パリ

主な参考文献:『日本の金メダリストじてん1・2』中嶋舞子/著(ベースボールマガジン社 2018.4/5)

雑誌スポンサー募集中！



雑誌スポンサー

●雑誌スポンサー制度とは？

愛知県図書館で提供する雑誌の最新号のカバー等に企業名や広告を掲載できる制度です。スポンサー名は愛知県図書館 Web サイトにも掲載します。

愛知県図書館が指定するリストから雑誌をお選びいただき、年間の購読に必要な費用をご負担いただきます。

あいちBookサポーター募集中！



あいちBookサポーター

●あいちBookサポーターとは？

愛知県図書館を応援してくださる方から、本や物品をご寄附いただく、オーダーメイド型の寄附制度のことです。

- まずは「どんな分野の本や物品を寄附したいか」ご相談ください。
- ご意向を元に、寄附候補となる本や物品をご提案します。
- 愛知県図書館からご提案した候補の中からご寄附ください。未永く活用いたします。

ささやかですが金額に応じて特典をご用意しています。

ぜひBookサポーターになって愛知県図書館を応援してください！

※「あいちBookサポーター」へ寄附すると、税法上の優遇措置が受けられます。

詳しくはインターネットで

愛知県図書館 雑誌スポンサー

愛知県図書館 あいちBookサポーター

と 検索

もしくは、右上の二次元コードよりそれぞれご覧ください。

あゆち 愛知県図書館報 第26号

2026(令和8)年 1月 発行
ISSN 1880-5663

編集・発行 愛知県図書館

〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目 9-3

■電話…052-212-2323 (代表) / 052-212-3200 (調査相談)

■FAX…052-212-3674

■Webサイト…<https://www.aichi-pref-library.jp>

開館時間

●火～金……………10時～20時 ※児童図書室・視覚障害者資料室は10時～18時

●土・日・祝日…10時～18時

休館日

■月曜日・毎月第2木曜日

※祝日(振替休日・国民の休日)に当たるときは開館、次の平日に休館

■年末年始・館内整理のための休館



Web サイト

